

平成25年久山町議会3月定例会一般質問通告書

平成25年3月12日 NO. 1

議員番号・議員名	質問事項	質問の要旨
4番 有田行彦	1. 原工業団地内にある糲レオロジー機能食品研究所や九大第二内科との久山研究について	<p>①山中教授のノーベル賞受賞は、以前、九大の清原教授が再生医療、オーダーメイド医療、ゲノム創薬の研究について話をされたことがあったが、まさにその時がきたと考える。現在の進捗状況、今後の展開はどう考えるか。</p> <p>②今後、久山研究の研究支援等について、どのように考えているか。</p> <p>③久山研究のために立ち上げられた一般社団法人久山生活習慣病研究所と公益財団法人久山健康田園都市財団の合併を考えたかどうか。</p> <p>④医食同源を科学する糲レオロジー機能食品研究所と久山町の関わりは、現在どのようなになっているか。</p>
	2. 有線放送を活用した安心・安全対策を	<p>①昨年4月の北朝鮮ミサイル発射時は、まだ、Jアラートが有線放送と直結されていなかったため、町民に知らせることができなかった。先月も北朝鮮で核実験があったと報道された。町民に危険を知らせるJアラートの整備は大丈夫か。有線放送未加入者へ危険周知の対応はどう考えているのか。</p> <p>②中国から日本への大気汚染飛来は、健康への不安を感じるものである。予防対策のチラシや広報掲載など、町としてどのような対策を講じていくのか。また、濃度が高い時は外出を控えるような内容の放送を、有線放送を活用して行う考えはないか。</p>
	3. 毒グモ対策について	<p>特定外来生物の毒グモ「セアカゴケグモ」・「灰色ゴケグモ」が、福岡市東部を中心に広範囲で見つかっている。現在久山町では発見されているのか。子ども達や高齢者への啓発指導や町での防除等の対策は、どのように行っているのか。</p>
	4. 空き地・空き家の不審火対策について	<p>昨年の中久原柳ヶ原地区での空き家火災は、周囲の山に延焼するのではないかと大きな不安がよぎった。町内でも住宅内に空き地・空き家が目立つようになっている。不審火等がないように環境条例等はあるが、条例による空き家・空き地等の維持管理対策は充分でないと考えられ、その効果には疑問がある。空き地・空き家周辺の住民の負担にならないように、規則等の見直しをする考えはないか。</p>

平成25年久山町議会3月定例会一般質問通告書

平成25年3月12日 NO. 2

議員番号・議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
5 番 吉村 雅明	1. まちづくりプロジェクトの対応について	<p>昨年12月議会の全員協議会で、「新しい理想のまちを構想する」として、コンサルタントから説明を受けた。その中で「久山町は基盤が非常に弱く、高齢化が進み、人口増は無理、このままでは衰退していくばかりである。そのため、今後、日本のモデルになるような町にしたい」と、実現の取り組みと意気込みを示された。また、「町職員のやる気と町長の熱意で可能性は高い。」と強調された。</p> <p>すでに、町の魅力づくりの一環で、「ひさやま猪野さくら祭り」が進められ、4月からは「魅力づくり推進課」も出来る。今後、新しいまちづくりが急速に進められると思うが、私には説明の内容が大きすぎて夢物語にしか聞こえなかった。</p> <p>プロジェクトの具体的な時期等を含め、町長の考えをお聞きしたい。</p>
	2. 土地政策の見直しについて	<p>町は課名を変えてまで町の魅力づくり推進を行ない、町外から人を呼びこむとしているが、町の人口増に直ぐには繋がらないのではと考える。</p> <p>人口増には、土地政策とのタイアップが必要であり、現状の市街化調整区域の変更が出来なければ、地区計画をある程度見直すか、規制緩和がなければ、新たに家を建てることができない。人口増のためにも、地区計画の柔軟な対応は出来ないのか。町長の考えをお聞きしたい。</p>
	3. 微小粒子物質「PM2.5」の対応について	<p>この件については、国中をして、現在、中国からの越境汚染として健康への悪影響が社会問題となっている。国は、この「PM2.5」の環境基準値を、1日平均で1㎡あたり35マイクログラム以下と定めているが、日によっては福岡地区でも相当高い数値も出ている。また、地域によって相当の格差があると言われている。</p> <p>これから、4～5月は黄砂も加わり、特に健康上大きな問題となるのではないか。</p> <p>この件は今年だけではない。したがって、今後、久山でこれの観測を行ない、有線放送やホームページで町民に注意喚起はできないものか、町長の考えをお聞きしたい。</p>
6 番 佐伯勝宣	<p>1. 町の食育環境と中学校の給食問題について</p> <p>①②…町 長 ③④…教育長</p>	<p>①厚生労働省は国民の健康の総合的な推進を図るための基本的な方針として、現行の「健康日本21」を大きく改め、「次期国民健康づくりプラン」として、4月1日付けで県や地方自治体に通達を出すとのことである。</p> <p>「健康」は久山の魅力づくりの大きな柱と考えるが、食と健康の関係を町長はどのように認識しているか。</p>

平成25年久山町議会3月定例会一般質問通告書

平成25年3月12日 NO. 3

議員番号・議員名	質問事項	質問の要旨
6番 佐伯勝宣	1. 町の食育環境と中学校の給食問題について	<p>②食への取り組みは、健康推進政策の大きなポイントである。 近年、子どもの食生活の乱れが問題視されており、要因として、親の世代の食生活が子どもにも影響を与えているのではないかと考えられる。 今後、健康の町として、食育行政をどのように進める考えなのか。</p> <p>③親の共働きや食の安全の問題など社会環境が変化中、中学校給食を望む保護者の声が高まっている。愛情弁当も有りと思われるが、平成17年に施行された食育基本法が目指す食育とは何か。倫理的に視野に立った給食議論が必要ではないか。 このことについて、どのように考えるか。 (食育基本法の制定と学校給食法の改正により、県内では北九州市、また、親の愛情弁当を全面に打ち出していた神戸市が、中学校給食の導入を決めるなど、全国で多くの自治体が中学校への給食導入へ舵をきっている。)</p> <p>④久山中学校での食育への取り組み状況は。</p>
7番 佐伯 國廣	<p>1. 将来の幼児教育について (町長・教育長)</p> <p>2. 芝桜による土手の管理について</p> <p>3. ボタ山の管理契約について</p>	<p>①町立幼稚園の園長先生は、久原、山田を兼任されている。現在、両幼稚園の先生は、主任先生を含めて14名である。内、正規の先生は久原3名、山田3名の計6名。残る8名は嘱託、臨時職員である。異常と思えるが、教育長の見解を聞きたい。</p> <p>②久原・山田幼稚園を統合し、上山田の区画整理地内に新設計画が進められている。過去の議会答弁では、幼稚園と保育所との総合型幼児教育を進めると言われてきた。 将来の幼児教育は、どのようなになるのか。</p> <p>③人口増の核となる幼児教育を、まちづくりの重点施策として取り組む考えはないか。</p> <p>芝桜の定植試験が現在行われている。町有地での試験は美観上においても良いことだと思うが、道路の土手(法面)で施行されることには疑問がある。 土手の管理は、従前より水田の工作者が草刈り等をされてきた。この定植試験には、高価なマルチシート等を使用している。今後は町費を投入し、町内に普及する考えがあるのか。</p> <p>ボタの発火はおさまりつつ、温度も下がっているとの報告を受けていたが、昨年業者と管理契約を締結し、赤土が盛り上げられている。 管理契約の必要性を伺いたい。</p>

平成25年久山町議会3月定例会一般質問通告書

平成25年3月12日 NO. 4

議員番号・議員名	質問事項	質問の要旨
7番 佐伯 國廣	4. 久保橋の架け替え等の推進について	<p>平成21年7月の豪雨で被害を受け、久保橋は解体された。その後、下久原田園地区計画推進委員会は、新しく架ける橋の位置や道路のルート、公民館・遊園地の移転場所等の4項目について町から諮問を受けた。委員会は、平成24年4月4日付けで町長宛に要望書を提出している。</p> <p>しかし、この件について町からの説明や回答はない。要望書を理解され推進されているとは思いますが、町長の考えを聞きたい。</p>
9番 本田 光	1. 町指定ごみ袋の改善とごみ処理問題について	<p>①一般可燃ごみ袋の1枚の原価は、(大)12.3円、(小)9.9円と聞く。一方、町は久山商工会へ町指定ごみ袋販売委託料1,132,467円(平成23年度)を支出している。</p> <p>消費税を含む小売価格、町と商工会が取り交わしている契約内容とは、どのようなものか。</p> <p>②一般可燃ごみ袋1枚の販売単価は、(大)105円、(小)70円で、他町と比較して特別に高い。負担の公平性から言って、国保税など非課税の人、所得の高い人、低い人も一律の袋の料金の支払いとなっているが、他町並の価格に引き下げてはどうか。</p> <p>③一般廃棄物処理法第6条2を、町長はどう認識しているのか。</p> <p>④家庭から出るごみの収集、運搬、中間処理(焼却)、最終処分までの処理、また、事業系ごみ処理問題も、環境保全や資源循環との視点で取り組むことが最も重要だと考える。</p> <p>町の一般廃棄物処理基本計画・ごみ処理基本計画は、5年ごとの見直しはされているが住民目線での拡充と見直しを検討してはどうか。</p>
	2. 町内のバス路線を維持・確保し、より効果的・効率的な対策を	<p>平成24年12月議会で質問した交通対策について再度質問する。</p> <p>お年寄りや交通弱者、多くの利用者が利用したくなるような工夫、イコバス(27名乗車定員)を小型ワゴン車への変更や(a)ジャンボタクシー、(b)デマンドタクシー等の導入を含め検討をと質問。町長は「交通活性化協議会」で検討したいと答弁された。</p> <p>また、福岡市東区青葉校区自治体協議会より西鉄自動車事業部本部宛に交通体系の見直しで「トリアス久山への買い物と猪野方面へ通勤しやすいようにとの要望書」が提出されている。このことに対する町長の所見を尋ねたところ、「町にとっても、良いことであるので、西鉄と交渉していく」と答弁された。</p> <p>3カ月が経過したが、その後、交通活性化協議会や西鉄との協議はどのように進展したのか。</p>

平成25年久山町議会3月定例会一般質問通告書

平成25年3月12日 NO. 5

議員番号・議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
9 番 本 田 光	3. 学童保育は6年生まで拡大を	<p>共働き家庭、母子家庭、父子家庭の小学生の放課後生活を保障する施設、学童保育の充実と対象年齢(6年生まで)拡大が強く求められている。</p> <p>また、今日指導員が果たしてきた役割はきわめて大きい。1年生から6年生までの学童期の発達、指導と援助を拡大してはどうか。</p>
1 番 池 松 巖 根	1. 首羅山遺跡と観光事業について (町長・教育長)	<p>①2月13日レスポアール久山で、久原・山田両小学校6年生による総合学習発表会「首羅山サミット」が開催された。しかし、400席の会場に対し、両校の児童や保護者、一般参加者を含めても200名程度しかおらず、空席が目立っていた。</p> <p>子ども達の郷土への素晴らしい発表に対し、町民への参加の呼びかけは、どのように取り組まれたのか。</p> <p>②町長はサミット参加者を代表して、首羅山公園の実現化を述べられたが、町はどのような案を考えているのか。</p> <p>③町の観光事業の中に、首羅山遺跡をどのように位置づけ、発展させようと考えているのか。</p>
	2. 高齢化対策と健康づくりについて (町長・教育長)	<p>①町長は施政方針の中で、高齢化対策と健康づくりについて述べられた。</p> <p>久山町の高齢化率は、平成25年1月時点で25.7%である。このような現状の中で、町長はどのような施策を考えているのか。</p> <p>②子どものアンビシャス運動で、学校土曜休日にともなう広場づくりが行われた。久山町でのアンビシャス運動の生い立ちと現状の活動状況について問う。</p> <p>あわせて、町長は高齢者の広場づくりについてどのような考えであるか。</p>